

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A (対象地域の概況)

NO.131		だいせんかがみがなる 大山鏡ヶ成	生物地理区分		コナラ林(西日本)	
			地域区分		中山間地	
所在地	都道府県	鳥取県	地形条件	○ 1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	江府町		4.低地	5.その他()	
	集落名称等	御机	環境要素	1.二次林	○ 2.草地	3.水田
				4.畑	5.小川・水路	6.ため池
				○ 7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林
				○ 10.その他(ブナ自然林)		

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの ○:それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
・大山隠岐国立公園	
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
里山:ギフチョウ、カタクリ、マツムシソウ、ウメバチソウ等 湿地:ゴマシジミ、ヒメシジミ、イヌセンブリ、トモエソウ等	観光パンフレット等に写真が使用されている、風景探勝や撮影の来訪者が多い

	
撮影時期:2010年10月 写真の説明:奥大山古道でのトレッキングツアーの様子	撮影時期:○年○月 写真の説明:奥大山地域。草原・二次林・人工林・原生林が入り混じって多様な生態系を維持している。

NO. 131		大山鏡ヶ成	取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	鳥取県		2.団体・企業・学校等
	市町村	江府町		○ 3.行政による支援施策の活用
	集落名称	御机		4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他

取組 主体	主な主体の名称		グラウンドワーク大山 たいせんひるせん 、休暇村奥大山、奥大山古道保存協議会、環境省	
	その他の主体の名称			
目的 ●：主 ○：その他	○	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用		
		自然観察会	*	自然観察会、ホテル観察会、花（カタクリ）の観察会
		環境教育・学習活動	*	登山等
		里地里山体験・環境保全	*	草刈、湿地の侵入木の除去
		農林業体験活動		
		エコツアー	*	スノーシュートレッキング、古道の散策
		その他	*	古道の保全・整備
	●	4.野生動植物やその生息地の保全・管理		
		取組内容	大山蒜山グラウンドワークではギフチョウの調査保全活動を実施、休暇村奥大山では、草原の草刈を有識者の指導の下に実施し、カタクリの保全活動にも積極的に取り組んでいる。環境省は鏡ヶ成をフィールドに自然観察会を実施しているほか、平成21年に鏡ヶ成湿原の湿地性の植物の保全のための侵入木の除去作業を行った。	
	○	5.地域の良好な景観の保全・修復		
取組内容		住民・NPO や沿線に暮らす農家・近隣行政機関などが連携し、「奥大山古道保存協議会」を発足させ、古道の整備、周囲の草刈を行い、自然と親しむことが出来る「奥大山古道」の復活に取り組んでいる		
連携・協働による 取組内容・役割分担等			様々な団体によって今まで行われてきた、鏡ヶ成山麓での保全活動とあわせて、平成22年に「奥大山古道保存協議会」によって「大山道」という大山山麓から中腹を巡る古道（山岳宗教や牛馬取引の道）が再生された。これを地域の資源として、住民・NPO 等や沿線に暮らす農家などが協働して、大山山麓の自然や美しい名峰の眺望、農村風景やそこに根ざす文化を観光資源として活用したツアーや、プログラムなどを展開している。	
取組の特徴や強調したい点			自然環境を保全するとともに、古道「大山道」を活用して地域の再生・活性化を図るため、住民・NPO や農家等が連携して、「奥大山古道保存協議会」を発足させた。整備された「大山道」を生かしたイベントを開催し、「大山道」を地域の新たな資源として活用を図っている点。	

取組の概要	行政と地元団体の協力により、管理作業や調査を実施し、動植物を保全とエコツーリズムを展開	課題グループ
事例の特性	生息地や生育地保全のための維持管理の継続、野生生物調査、連携促進のための協議会の結成	●野生生物 ●仕組
取組の中で他の地域の参考となる点	地域の自然景観と歴史を活かした新たなツーリズムの実施が、地域活性化に貢献している	